

八峰コミスク通信

令和元年度
第14号
R2/1/29
CSディレクター
工藤

Dのあっちこっち見聞録

小6・中1の連携交流事業

小学校6年生が、春からスムーズに中学校生活になじめるように、また、中学生の思春期特有の悩みをいくらかでも解消できるようにと、あきた白神体験センターを利用して毎年1泊研修を行っています。

今年度は、小学6年生28名、中学1年生39名の計67名が参加。1月9日(木)の初日は、グループに分かれて「カルタづくり」、「ユニカール交流会」、夜の「ナイトハイク」を体験しました。

翌日の2日目は、秋田大学の佐々木准教授による「思春期講座」が行われました。子どもたちが抱える本音や悩みを聞き取り、共有し、みんなで解決方法を探っていくという内容。佐々木先生の話し上手、聞き上手の進め方であつという間の2時間でした。なお、就寝で少しハイになった子どもたちが午前2〜3時まで起きていた部屋もあって、巡回で寝不足の職員が2名ほどお疲れさまでした。



『コミュニティ・スクール先進事例紹介フォーラム』の報告

八峰町コミュニティ・スクールは現在3年目を迎えています。今後の当コミュニティ・スクール活動の参考にするため、1月23日(木)秋田県生涯学習課の担当者、および秋田県教育委員会コミュニティ・スクールアドバイザーを講師に招いて、さまざまな先進事例を学ぶフォーラムを開催しました。当日は約30名の方からご参加いただきました。ありがとうございました。

秋田県のコミュニティ・スクール導入率は、公立の小中学校、高校、特別支援学校を合わせると38.9%で東北1位、全国では8位だそうです。小中学校では45.7%と高く、今後も多くの小中学校で導入が見込まれるとのことでした。

この制度を活かすキーワードは「協働」という言葉で、学校、地域。保護者それぞれが一つの目的を達成するために協力しあうことが重要だと強調されていました。(はい、がんばりましょう)

興味深く感じた先進事例を紹介すると、

- 西目小学校「5年生米作り体験」では、最新の機械に同乗させて、今の米作りも体感させている。
- 西目小学校「3年生りんご栽培」は、摘花から収穫まで連続してりんご栽培を体験させている。
- 西目小学校区では、幼稚園児、小学生、中学生、高校生、地域住民が一緒になってかかしを作る「かかしプロジェクト」を実施している。
- 鳥海中学校の「全校生徒横笛」は、地元保存会の協力で、全校で横笛の練習に取り組んでいる。
- 鳥海中学校「ジオサイト発掘隊」は、中学生が知られていないジオサイトを発掘して提案する活動をしている。
- 岡山県岡山市では、NPOが小中学校の空き教室を利用して週2回のシニアスクールを開校している。

やはり、よその事例を聞くことは良いですね。勉強になります。

